

科目名	障がい者福祉論（社会福祉士必修）			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2021年度 前期	単位数	2	
担当教員	市川 和彦			
内容および計画	障がいは誰でもが自分あるいは家族がその生涯のうちに直面する問題と言えるでしょう。障がいとはそもそも何か、障がいに対する正しい理解、具体的なサービスや制度、支援について学びます。社会福祉士国家試験の必修科目でもあります。単なる試験対策としての学びではなく現場で役に立つ実践力を身につけてほしいので視聴覚教材やロールプレイ、事例検討、ゲストスピーカーによる特別講義なども積極的に取り入れていきます。			
1	これから何を学ぶか、 障害とは何か			
2	I C I D Hと I C F、社会モデル			
3	障がい者福祉を支える理念（1）			
4	障がい者福祉の歩み			
5	海外の障がい者福祉			
6	障がい観の変容（動物的進化から人間としての進化へ）			
7	障がい者に関わる法体系			
8	障害者総合支援制度（1）			
9	障害者総合支援制度（2）			
10	障害者総合支援制度（3）			
11	障害者総合支援制度（4）			
12	障がい者の権利擁護（虐待防止と差別解消法、合理的配慮）			
13	相談支援事業			
14	連携する関連機関と専門職			
15	環境と障がい者雇用			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』	社会福祉士養成講座 編集委員会	中央法規	2019
参考書	市川和彦編著「虐待のない支援～知的障害の理解と関わり方～」誠信書房			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	総合評価レポート			80
	課題別レポート			20
毎回、国家試験の模擬問題を実施する（当該科目の成績には関係しない）				
学習到達目標	社会福祉士として自分がどのような支援を提供できるのか具体的イメージでき、その方法についても活用で			

	きる支援力を身につける。
先修条件	
実務経験	<p>実務経験あり：障がい児入施設に4年、障がい者支援施設に8年身を置きケアワーク、ソーシャルワークに身を置いてきた。</p> <p>平成15,4～17,3 茅ヶ崎市地域福祉計画策定委員会生涯専門部会部会長</p> <p>平成17,4～平成19,3 茅ヶ崎新障害者保健福祉計画推進委員会委員長</p> <p>平成24,4～会津若松市地域自立支援協議会権利軽薄部会委員</p>
その他	